

Data(2012年11月現在)

所在地:〒096-8641 北海道名寄市西4条北8-1

スタッフ:播本雅津子(教授), 鉢呂美幸(助教),
水野芳子(助教)

URL <http://nayoro.ac.jp/index.html>



名寄市立大学

保健福祉学部看護学科地域看護学分野

History and Now

どのような機関なのでしょう?

本学は日本最北の公立大学であり、日本最北の保健師養成施設です。1960年に開学した市立名寄女子短期大学から50年以上の歴史があります。本学はこれまで、道北地域における人々の生活を豊かにするための文化や情報の発信基地としての役割を果たしてきました。小規模校の特徴を活かし、信頼関係にもとづく家庭的で自由な学風が確立されています。名寄市は人口約3万人の小さな自治体ですが、長年北海道および全国各地から学生を受け入れてきたため、学生たちは在学中名寄市民として生活し、卒業時には名寄が第2の故郷と思えるようになります。

Education

どのような教育をしていますか?

保健師教育は2006年の開学時から開始し、2010年3月から卒業生を輩出しています。基礎教育として地域診断、家庭訪問、健康教育、健康相談などの公衆衛生看護技術の演習を多く取り入れ、「みて・きいて・つないで・うごかし・つくって・みせる」というイメージの習得をめざしています。実習は2~6人の実習生チームに分かれ、12市町村で行います。人口3~5000人ぐらいの規模の市町村が多いこともあり、住民と関わる機会の多い実習を行っています。卒業した1~3期生とこの春卒業する4期生はいずれも20%が保健師として北海道の自治体に就職しており、保健師就職率の高いことが特徴です。

Research

どのような研究活動を行っていますか?

私たちは、それぞれ一定の分野で10年以上の保健師経験を経たうえで教育に従事しており、保健師基礎教育、産業保健活動、職業性ストレス、北海道の地域保健活動など、それぞれの得意分野での研究活動に取り組んでいます。またその一方、この地域での看護職員確保対策に関する研究について、アクションリサーチの手法で継続的に取り組んでいます。保健所、市立病院をはじめとする医療機関、訪問看護ステーション、准看護学院、看護協会などの看護関係機関および地域内の高等学校と連携し、看護職員の確保をめざした研究および啓発活動を行っています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは?

この地域で唯一の保健師養成施設ですので、保健所および管内市町村との連携は欠かせません。公衆衛生看護学実習では、教員が毎日指導保健師とともに学生指導に当たるため、教員が新任期保健師に関する相談を受けたり、保健師教育に関する情報提供ができたりと、教員側も保健現場の時事的な課題を具体的に知る機会となっています。名寄保健所は毎年大学祭に「保健所コーナー」を設けて啓発活動を展開しています。実習でお世話になる保健所や市町村などが主催する研修の講師、シンポジウムの演者、各種委員などに出向くことも多く、それらの期待に応えられるようこれからも研鑽を重ねたいと思います。

ひとこと

保健師の専門性は学校で学んだ知識をベースに、実務経験のなかで醸成していきます。若いころ先輩たちに大事に育ててもらったことの感謝を胸に、保健師活動の最も裾野にいる基礎教育担当者として、現場の若い保健師の支援も行いたいと思います。

……播本

あなたの研究室を紹介してください! 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりを紹介してください。

応募について ●まず電話、FAX、E-mailにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎03-3817-5774 FAX 03-5804-0485 ✉hokenshi@igaku-shoin.co.jp